Ⅰ　学習にあたって

これは、愛知学泉大学家政学部におけるカリキュラムと各科目の内容を示した案内書である。本学部では 1 年間を前期・後期の 2 期に分けて授業をおこなっている。各学科での卒業必修科目及び免許、資格に必要な科目の単位をカリキュラムに基づいて取得しなければならない。

単位認定のためには：①受講科目の登録
②授業出席
③期末試験合格、課題提出（レポート、作品等）

上記 3 つが必要である。以下の諸事項と「キャンパスライフ X.学習の手引き」をよく読み、卒業や資格に必要な単位を取りこぼすことのないように注意されたい。

① 各期のはじめに受講科目を登録する。

履修登録は指定の期日までに教務システムから行う。登録期日に遅れたり、忘れたりすると受講出来ないので充分注意すること。あらかじめおこなわれるガイダンスを参考にして、間違いのないように登録する。原則として各自の所属する学科・学年に開講されている科目を登録し受講する。

選択科目については、4 年間の開講予定を参考にして卒業までの勉学の方向を定めるとよい。余裕を持って多めに受講しておき、卒業時に必要な総単位数が不足しないように注意すること。

② 授業に出席する。

規定回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格、作品・レポートの提出資格を失う。

③ 期末試験、作品、レポートについて合格点をとる。

以上 3 点が満たされたとき、単位が認定される。なお、各期始めのオリエンテーションで成績を本人に提示するので、必ず取得単位数をスキル・リテラシー・教養教育科目／専門科目別、必修科目／選択科目別に単位の取得状況を確認すること。

教務委員会

Ⅱ　家政学部で何を学ぶか

家政学部長

［家政学部の概要］

家政学部は生活者の視点から科学という公正さをもって生活を研究する学問分野です。「生活科学」「食物・栄養学」「被服学」「住居学」「児童学」の五つの分野に大別される家政学部の学問は、家庭生活の衣・食・住すべてと密接に関わり、身近な生活環境の向上を目指し、ライフスタイルをデザインできる人材を育成すると同時に、広く社会全体の人間生活の進歩・発展に寄与しています。

［教育目標］

本家政学部は「ライフスタイル学科」「管理栄養学科」「こどもの生活学科」の３学科からなり、以下のように学部共通および学科ごとの教育目標を定め教育をします。

「家政学部」

家政学部の教育目標は、「建学の精神」の実践を通して社会的に自律して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③四大精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成することです。

「ライフスタイル学科」

ライフスタイル学科の教育目標は、家政学部の教育目標の下、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成することです。

「管理栄養学科」

管理栄養学科の教育目標は、家政学部の教育目標の下、管理栄養士の資格を生かして、チーム医療、健康増進・疾病予防、食育・栄養指導又は健康をテーマにした食品の研究・開発等で活躍することによって、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成することです。

「こどもの生活学科」

こどもの生活学科の教育目標は、家政学部の教育目標の下、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、こどもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成することです。

［卒業時の到達目標］

「ライフスタイル学科」

① 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
② 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
③ 社会的に自律して生きていく上で必要なライフスタイルのデザインに関する専門的知識・技能を身に付けている。
④ 人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる。

⑤ 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・ｐｉｓａ型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑥ AI を活用して課題を解決することができる。
⑦ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

「管理栄養学科」
① 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
② 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
③ 社会的に自律して生きていく上で必要な管理栄養士に関する専門的知識・技能を身に付けている。
④ 人々の日常生活を健康の面から支援することができる。
⑤ 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・ｐｉｓａ型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑥ AI を活用して課題を解決することができる。
⑦ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

「こどもの生活学科」
① 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
② 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
③ 社会的に自律して生きていく上で必要な保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に関する専門的知識・技能を身に付けている。
④ 人々の日常生活を子育ての面から支援することができる。
⑤ 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・ｐｉｓａ型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
⑥ AI を活用して課題を解決することができる。
⑦ 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

［卒業後の進路］
「ライフスタイル学科」
多彩なビジネスフィールドで専門性を活かしたスペシャリストへの進路を開きます。専門科目の空間・情報デザイン、食開発・マネジメント、ビジネス・地域活性の専門科目を学び、さらに専門性を体験型科目で修得することにより、インテリア、アパレル、ファッション、デザイン・IT 関連、ブライダル、食品・外食産業、公務員、家庭科教諭への道を選択することができます。また、取得可能な免許・資格は①中学校教諭一種免許状（家庭）②高等学校教諭一種免許状（家庭）③食生活アドバイザー④フードスペシャリスト⑤商品プランナー認定試験受験資格⑥スポーツインストラクター⑦商品装飾展示士３級⑧社会福祉主事事任用資格です。

「管理栄養学科」
病気の回復や健康づくりをサポートできる栄養と食のプロとして多方面で活躍する管理栄養士の道が開かれます。管理栄養士に必要な専門知識と技能を学び、さらに専門実践活動として疾病治療・重症化予防、疾病予防、食育・食環境科目を修得することにより、病院、福祉施設、委託給食会社、健康管理クリニック、薬局、スポーツジム、栄養教諭、食品関連会社への道を選択することができます。また、取得可能な免許・資格は①管理栄養士国家試験受験資格②栄養士免許③栄養教諭一種免許状④食品衛生監視員任用資格⑤食品衛生管理者任用資格⑥健康運動実践指導者認定試験受験資格⑦商品プランナー認定試験受験資格⑧NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格⑨社会福祉主事任用資格です。

「こどもの生活学科」

0歳から18歳の子どもの成長や発達、社会環境の変化へ対応できる教育者や保育者の道が開かれます。小学校教諭・幼稚園教諭免許および保育士資格を取得することにより、現代の教育現場で活躍できる小学校教諭・柔軟な対応力を備えた幼稚園教諭・保育士への道を選択することができます。また、取得可能な資格は①小学校教諭一種免許状②幼稚園教諭一種免許状③保育士資格④スポーツインストラクター⑤社会福祉主事任用資格です。

［ビジョン達成のための汎用力を育む］

社会が抱える多くの課題を解決するために、専門的な知識・技術を獲得・活用して問題解決する力である「pisa型学力」を鍛えましょう。また、四大精神の実践を通して、目標に向った継続的な努力、周りの全てに対する真心、奉仕の心、そして感謝する心を培います。さらに、自身のビジョンを達成するために必要となる「社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）」を学修活動・大学生活・就職活動、すなわち大学４年間のすべての場面で常に意識しましょう。

皆さんが踏み出す４年後の社会は、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させた新たな未来社会である「Society 5.0」に到達していると考えられます。その時代の中では「生活の豊かさとは何か」を探究する家政学の観点はこれまで以上に重要となってくるでしょう。

また、グローバル化が進む中で、国際交流のイベントを通して、海外の人々とも交流を持ち、多くの人たちと知り合い、語り合い、共に体験することで様々な価値観や生き方、考え方に触れましょう。そして、個人として自律するという意志、生きる力、生きる歓びに満ち溢れた人生を構築する礎となるよう数多くのことに挑戦する４年間にしましょう。

Ⅲ　社会人基礎力について

愛知学泉大学学長

愛知学泉大学は基礎学力・専門知識と共に「社会人基礎力」を育成します。

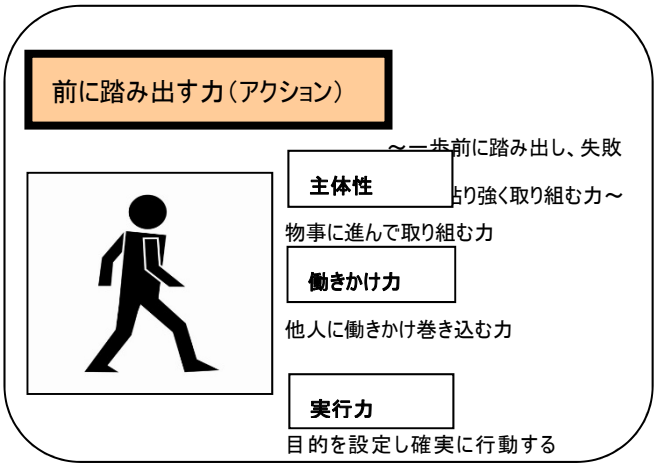
本学では各科目のシラバスに「発揮する能力要素」を記載しています。これは『社会人基礎力』の「能力要素」のことです。先ず『社会人基礎力』について説明しましょう。

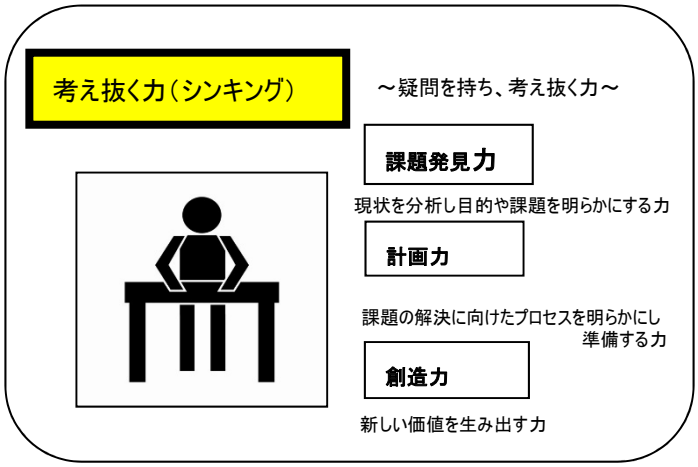
社会人基礎力とは

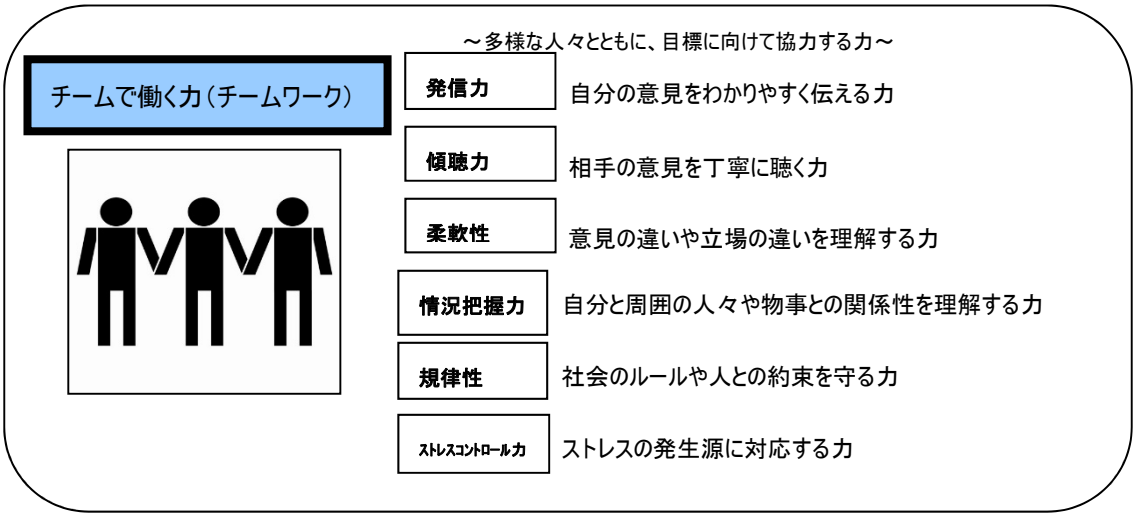
『社会人基礎力』とは、経済産業省が提言する「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていくうえで社会人として必要な基礎的能力」です。

この能力は社会人として、人間として自分を活かして生きるために必要な能力でもあります。したがって、本学では『社会人基礎力』を“学ぶ”ための行動目標と位置づけ、教える人も学ぶ人も共にこの『社会人基礎力』を意識し、また発揮して学びを深めるものです。それは、学びながら社会人としての力をつけることができます。

社会人基礎力は　3 つの能力　/　12の能力要素　を基本とします。







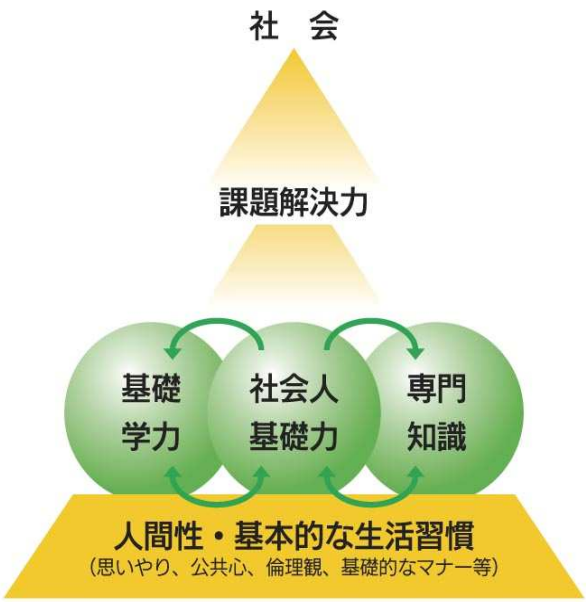
各科目における社会人基礎力の育成

右図のように人間性・基本的な生活習慣の上に「基礎学力」「専門知識」「社会人基礎力」が兼ね備わると「課題解決力」となり現代社会で活躍できる基盤を形成できます。

そこで本学では、「社会人基礎力」を各科目においても能力を発揮し高めることができるように各先生方にも授業を展開していただきます。

つまり、本学の皆さんはその科目を履修することにより自ずと「社会人基礎力」の何がしかの能力を高めていけることになります。
もちろん、積極的に参加し、発揮しなくては高めることは出来ません。

シラバスにおける「発揮する能力要素」とはその科目で育成する〝**社会人基礎力の能力要素**〟です。



冊子「無限の可能性への道　～社会人基礎力を育む学泉ノート～」の活用

配布された冊子を熟読して社会人基礎力に関する知識を高めるとともに、その重要性を認識し、社会人基礎力の育成に努めましょう。

Ⅳ　こどもの生活学科

こどもの生活学科　学科長

現代社会は、今、急速なAIの進化や経済・政治構造の変容により、先の見通しが難しい時代となっている。技術革新や物質的豊かさの進展が生活の利便性を高める一方で、社会的不安や集団の寸断を加速させてもいる。そのような社会の変化に伴って、我々には生活の基盤に根ざした文化的・社会的再構築、すなわち「生活世界の再生」を目指さす必要が出てきた。

本学科における教育の理念は、この「生活世界の再生」を基軸とし、子どもたちの健全な発達と成長を支える生活様式の探究、および保育・教育実践に関する体系的な学修を通じて、子どもたちに「生きる歓び」と「生きる力」を涵養できる確かな専門職（保育者・教育者）の育成を目的としている。

具体的には、以下の三つの能力の育成を教育目標として掲げる。

生活力：子どもの生活に根ざした実践的知見と、生きる歓びを創出する能力
社会力：家庭や地域社会における生活基盤を構築・維持するための協働的実践力
文化力：生活の質を高める創造的活動を企画・展開する能力

これらの能力を総合的に育成することにより、実践知と専門性を兼ね備えた保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の養成を図る。

カリキュラムの構成においては、「幼保領域」と「小学校領域」を設定し、幼児教育に精通した小学校教諭、ならびに初等教育の視点を備えた保育者の養成を同時に目指す本学科独自の教育的特色を反映している。さらに、創造性と文化的感性の育成を目的とした「ライフ開拓領域」を設置し、各領域間の相互連携を図りつつ、複数の資格・免許の取得を前提とした教育プログラムを体系的に編成している。
している。

【取得資格・免許】

保育士資格
幼稚園教諭一種免許
小学校教諭一種免許
スポーツインストラクター資格
社会福祉主事任用資格